

# 編修趣意書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-168	小学校	国語科	書写	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	書写 307	小学 書写 三年		

### 1. 編修の基本方針



## 学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ

自ら問い、考え続け、  
社会を創っていく子どもたちを育てたい。  
そのような思いをこめて、  
私たちはこの教科書をつくりました。



### 課題解決に向けて

## 「考える力」「書いて伝え合う力」 を育みます。

文字を整えて書く原理・原則を理解し、  
自分のめあてと向き合って書く過程をとおして、  
子どもたちは「学び方」を身につけます。  
よりよく伝えるための書き表し方を考え、  
工夫する過程をとおして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。  
本書は教育基本法に示された目標の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、  
生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。



#### 特色 1

### 「書く力」が身につく —すべての学びを支える—

よい姿勢と持ち方、運筆のしかたを身につけると、長い時間書いていても疲れません。よい学習習慣が身につくことで、各教科の学びを支えます。

#### 特色 2

### 「学び方」がわかる —自ら学びたくなる—

文字を書く原理・原則を見つける力が、他の課題に出会ったときに、解決法を見つける力になります。  
自ら見つけた「わかった！」が学ぶ意欲につながります。

#### 特色 3

### 「書き方のコツ」 「伝え合う楽しさ」を知る —日常生活で使いたくなる—

子どもの日常における「書く場面」を徹底的に取材し教材化しました。  
「書き方のコツ」を使ってみたい意欲、伝え合う楽しさを実感した体験が、生涯にわたり「書きたい子ども」を育てます。

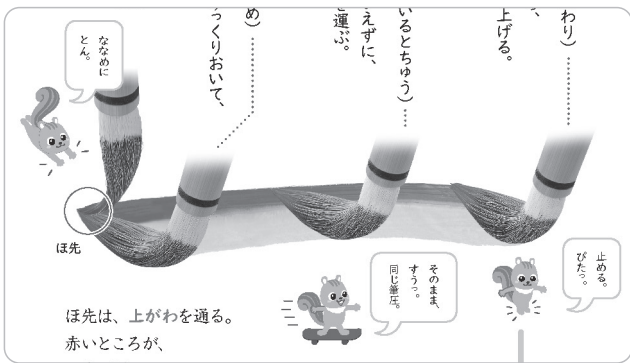
●いつもよいしせいで学習しよう！

よい姿勢を保つには、「こしびん」「足べた」「ぐう一つ」の合い言葉で腰をを起こし、背筋を伸ばすことが大切です。姿勢や持ち方が正しいと、疲れにくく、「学びが持続」します。

パソコンやタブレットを使うときも、書写で身につけた「よいしせい」を想起することで、子どもの健康を守ります。



▲ p.8



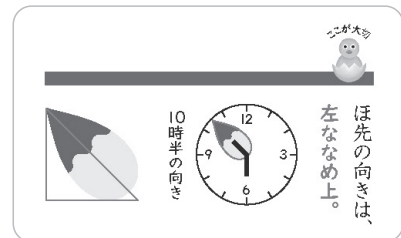
▲ p.14

●運筆リズムを、音声や視覚でわかりやすく

運筆を「とん」「すう」「ぴた」などの音声や、キャラクターの動作で表すことで、体感しながら身につけることができます。

●子どもがわかりやすい「例え」の図版

穂先の向きを子どもにわかりやすいように、時計の針に例えたイラストで表現するなどの工夫をしています。



◀ p.14

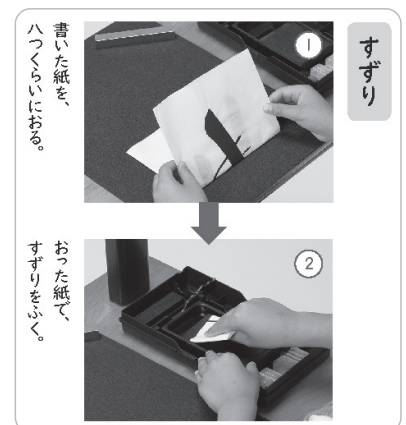
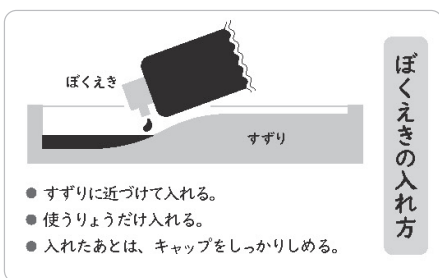
●毛筆学習の「肝」となる、「墨の扱い方」を丁寧に解説

筆に墨をどのくらい含ませればいいのか、硯に墨を入れるときの注意点など、机間指導で伝えたいことを具体的に図示しています。



使ったあとは硯を反故紙で拭くなど、環境にも配慮しています。

▼ p.6-7 ▶



▲ p.12



## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
1 はじめの学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。(第1号)</li> <li>● さまざまな運筆線を書く活動をとおして、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。(第1号)</li> </ul>	p.6-9 p.10-11
2 「横画」の筆使い 3 「たて画」の筆使い 4 「はらい」の筆使い 5 「おれ」と「はね」の筆使い 6 ひらがなの筆使い 7 「曲がり」と「おれ」の筆使い 8 学習のまとめ 書きぞめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。(第1号)</li> <li>● 確かな書く力を身につけることにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。(第3号)</li> <li>● 穂先の通り道が理解しやすい朱墨の図版を提示することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。(第1号)</li> <li>● 教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。(第3号)</li> <li>● 教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるように配慮しました。(第4号)</li> <li>● 書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。(第1号、5号)</li> </ul>	p.40-41 全般 p.14-15 など 全般 p.6-7 など p.50-56
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>● めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。(第2号)</li> </ul>	p.3 など
書きぞめ 【知りたい文字の世界】 筆について知ろう 【レッツ・トライ】 暑中みまい 俳句	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 書き初めの言葉として、『正月』『友だち』を書くことや、書き初めの由来にまつわるコラムによって、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。(第5号)</li> <li>● 日本の伝統工芸である「筆の作り方」を知ることによって、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮しました。(第5号)</li> <li>● 暑中見舞いを書く活動によって、日本の伝統的な慣習について知り、関心が高まるようにしました。(第5号)</li> <li>● 俳句を書く活動をとおして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。(第5号)</li> </ul>	p.50-56 p.18 p.23 p.39
こう筆の学習 筆順と字形 【レッツ・トライ】 暑中みまい お店見学のお礼じょう セーフティ教室の作文 てらん会作品のカード 【書いてつたえ合おう】 メモを取ってまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループで課題解決を行うことをとおして、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮しました。(第2号)</li> <li>● はがきや手紙の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。(第1号)</li> <li>● 学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。(第2号)</li> </ul>	p.30-31 p.23、33-35 p.23、27、32、47、48-49

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### 子どもの文字環境や文字文化を豊かにする



◀ p.46

「知りたい文字の世界」では、活字と手書き文字の違いを扱うことで、身のまわりの文字環境への関心を高めます。



▲ p.50-51

書き初め教材として「正月」「友だち」を掲載。書き初めの由来をコラムで扱うことで、日本の伝統文化への関心が高められるようにしました。(p.50-56)

## 全ての児童にとっての学びやすさに配慮

### ● カラーユニバーサルデザイン

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。(p.31 など全般)

### ● ユニバーサルデザインフォント

書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)

### ● 人権上の配慮

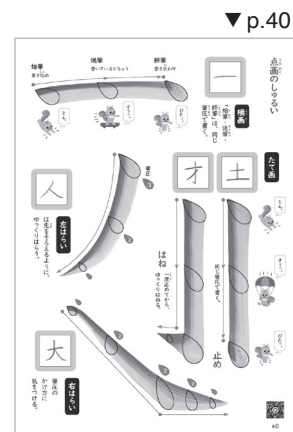
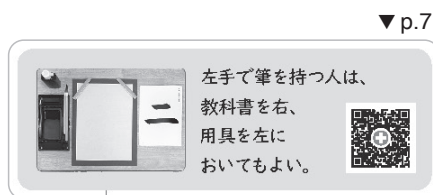
社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)

### ● 特別支援教育、日本語指導を必要とする児童等への配慮

基本点画の名称と書き方を確実に理解できる紙面は、支援を必要とする児童にとって、大きな助けとなります。(p.40-41)

### ● 左利きの児童への配慮

左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.7)



## ハイブリッドな書写学習

### ● つながる、広がる、「まなびリンク」

教科書教材がまなびリンク(二次元コード)と連動しています。すべての毛筆教材について、運筆動画を見ることができます。(p.24 など)

### ● タブレットPC等の活用

発達段階に応じて、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。(p.2 など)

### ● デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や資料を追加した学習者用デジタル資料集・指導者用デジタル教科書を発行します。



## 今日的な教育課題への対応

### ● ESD・SDGsへの取り組み

現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

### ● カリキュラム・マネジメントへの対応

- 「レッツ・トライ」や「書いて つたえ合おう」などのコーナーを設け、身につけた書写力を教科横断的に活用できる構成になっています。(p.23、27、48 など)
- 「もくじ」で、他教科や日常生活で生かせる書式がビジュアルに一覧できます。(p.4)

### ● 安全・安心への配慮

セーフティ教室を題材とした作文を掲載することで、安全への意識を高めています。(p.32)

## 学年間の円滑な接続

前学年で学習した漢字や、平仮名・片仮名の一覧表を掲載することで、既習事項を振り返ることができます。(p.59-61)

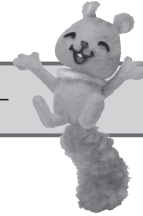
# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号 104-168	学校 小学校	教科 国語科	種目 書写	学年 第3学年
発行者の番号・略称 17 教出	教科書の記号・番号 書写 307	教科書名 小学 書写 三年		

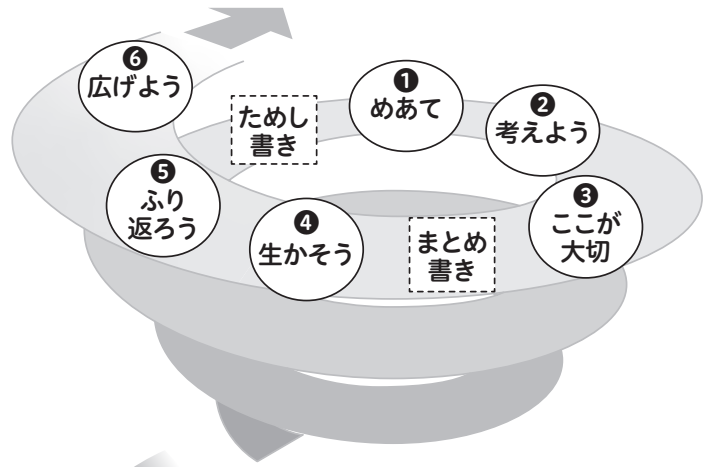
## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 **1** 「書く力」が身につく —すべての学びを支える—



### 学習過程がわかる紙面構成

「めあて」→「文字を書く原理・原則の理解」→「言葉を書いて応用を図る」→「振り返る」までの流れがわかりやすい紙面構成です。



### 自らの成長に気づく 「ためし書き」と「まとめ書き」

授業のはじめに「ためし書き」で、自分の課題に気づきます。授業の終わりに「まとめ書き」をして「ためし書き」と比べて振り返ることで、**1時間の授業**のなかで自らの成長に気づくことができます。

学習の流れがわかりやすい!!

▼ p.24-25

1 おれど、はねの筆使いに気づけて書く。

2 おれど、はねの筆使いに気づけて書く。

3 おれど、はねの筆使いに気づけて書く。

4 おれど、はねの筆使いに気づけて書く。

5 おれど、はねの筆使いに気づけて書く。

6 他の学習や、日常生活に活用します。

メモを取ってまとめ

書いてつたえ合おう

世界への文字

筆の「ほん」かたさのよ

書写で使う筆

書写で学習した生活やしゅ業の

自分がだん書いてる文字を「書く」にきき、ためし書きとくらべて、気づけるようにしよう。書きまわそう。

学習の始めと終わりに書く。ためし書き、まとめ書き。

コアラのこうちゃんが、文字を書くときに考える観点を投げかけます。



子どもの書字例

**学習の進め方**

- つかむ・考える**
  - こう筆や毛筆でためし書きをしよう。
  - めあてにそった文字の書き方を知ろう。
  - ためし書きと教科書の文字をくらべて、気をつけることを見つよう。
- 書く・たしかめる**
  - めあてに気をつけているか、たしかめながら練習しよう。
- ふり返る**
  - まどめ書きをして、ためし書きとくらよう。
  - めあてに気をつけて書けたか、友だちとつたえ合おう。
- 生かす・広げる**
  - 学習した書き方を、他の文字にも生かそう。

日常への活用例

**学習の手順がわかる**

2年生以上の全学年に「学習の進め方」を収録。子どもの書字例や活動写真を示すことで、自分で課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。

◀ p.5

**「主体的、対話的で深い学び」につながる学習活動**

「知識・理解」「思考・判断」「活用」  
「対話的な学び」を支える学習材を豊富に掲載しています。

知識・理解(振り返り)

思考・判断 (比較・分析)

活用 (対話的な学び)

筆順に気をつけて、字形を整えて書こう。

筆順は、文字を書くときに、点や線を動かしていく順番のこと。筆順が正しいと、文字がきれいに書けます。

31

30

▼ p.39

【お話し】

雪のけい村に、いっばいの子どもが、なはねわって、とんと虫のとびいする。古池やかわずとびこむ水のおと。

雪のけい村に、いっばいの子どもが、なはねわって、とんと虫のとびいする。古池やかわずとびこむ水のおと。

39

▼ p.45

赤い豆、うぐいす色の豆が、湯気をとたてています。女の子の顔が、ぱっと赤くなりました。そして、にっこわりました。

赤い豆、うぐいす色の豆が、湯気をとたてています。女の子の顔が、ぱっと赤くなりました。そして、にっこわりました。

湯豆温取

45

**国語力の基礎を養う**

国語で学習した教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。

▲ p.30-31

相手意識・目的意識の大切さを知る「書いて つたえ合おう」

学習の最終的なゴールは、目的を考えて書く力を育てること。

巻末には、これまでの書写力を総合的に生かせるような活動を設定しています。

▼ p.48-49

社会科の取材活動など、他教科の学習活動や日常生活へ生かせる活動を多数掲載し、**カリキュラム・マネジメント**に対応しています。

学年間の確かな系統性 ―硬筆教材一覧表

書写で身につけた力を、どの学習場面でも発揮できるように、各学年の学習活動に即した教材を系統的に構成しています。



学年	カード・はがき	手紙	ノート・原稿用紙(ます目)	罫線など	学習成果物・学級活動	メモ
1年	ありがとうカード(生活)		お正月のできごと(国語) 横書きの書き方(算数)	かんさつカード(生活) 絵日記(国語)		
2年	年賀状(日常)	ありがとうパーティーの招待状(生活)	お正月のできごと(国語) 横書きの書き方(算数)	時間割(特活) 本の紹介カード(国語)		
3年	暑中見舞いのはがき(日常)	お店見学の礼状(社会、国語)	セーフティ教室の作文(国語)	作品カード(図画工作) 横書きの書き方(国語、理科)	スーパーマーケットの工夫(社会、国語)	スーパーマーケットでの見学メモ(社会、国語)
4年	敬老の日のはがき(国語、社会、日常)	学習発表会の案内状(国語、特活)	理科のノート(理科)	横書きの書き方(国語、理科)	家から出るごみの種類と量(社会) 学級新聞(特活)	ダム見学での聞き取りメモ(社会)
5年	年賀状(日常、英語) 寒中見舞いのはがき(日常) 絵はがき(日常)	工場見学の礼状(社会、特活) 転任される先生への礼状(特活)			SDGsのポスター(特活)	工場見学メモ(社会)
6年	年賀状(日常)	卒業文集執筆の依頼状(特活) 「卒業を祝う会」の案内状(特活)		国語のノート(国語)	校外学習のリーフレット(特活) 卒業制作(特活)	話し合いメモ(特活)



# 検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
<b>1 教育基本法・学習指導要領への対応</b>	
① 教育基本法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮しました。</li> <li>めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。</li> </ul>
② 学習指導要領	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写学習をとおして「社会に開かれた教育課程」を実現するために、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を柱として、主体的に学習に取り組み、課題解決を図れるよう編集しています。</li> </ul>
<b>2 内容の範囲・分量・程度</b>	
① 教材の範囲・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の教材は、年間30～35単位時間程度で、限られた時数のなかでも、過不足なく学習効果が得られるよう工夫をしています。</li> </ul>
② 硬筆・毛筆教材の内容と程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、学習要素が理解しやすい文字や語句を選定しています。(p.22など全般)</li> </ul>
③ 硬筆・毛筆教材の書風	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の漢字配当表に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正を心がけ、児童にとって書きやすいものとししました。</li> </ul>
<b>3 組織・配列</b>	
① 基礎・基本の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字の書き方の秩序性を習得するために、姿勢・執筆や運筆方法、字形の整え方などの、基礎・基本が確実に習得できるよう構成されています。(p.6-9など全般)</li> </ul>
② カリキュラム・マネジメントへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>「レッツ・トライ」「書いてつたえ合おう」の教材では、習得した書写力を他教科や日常生活に活用できるように関連を図っています。(p.23、p.48-49など)</li> </ul>
③ 国語科国語との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>硬筆教材について、国語で学習した文学教材などから設定し関連を図るとともに、言語としての響きや豊かさを考慮しています。</li> </ul>
④ 学年間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>前学年で学習した漢字や、平仮名・片仮名の一覧表を掲載することで、既習事項を振り返ることができます。(p.59-61)</li> </ul>
<b>4 特色・工夫</b>	
① 適切に運筆する能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>よい姿勢を保ち、効率のよい鉛筆や筆の持ち方ができるよう配慮しています。(p.6-9)</li> <li>筆使いに重点をおく教材では、穂先の通り道を朱墨で明快に示しています。</li> </ul>
② 主体的に学習に取り組める	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の学習ステップがわかるアイコンを提示することで、子ども自らが学習手順を理解できるようにしました。(p.5など)</li> </ul>
③ 多様な文字文化への関心を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知りたい文字の世界」では、筆の作り方などを扱うことで、文字への興味・関心を高めるようにしました。(p.18)</li> </ul>
④ デジタル機器を活用した学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習時に参照できる運筆動画等を、ウェブサイトで見られるようにしています。</li> </ul>
⑤ SDGsへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。</li> </ul>
<b>5 表記・表現</b>	
① 文章表現・表記・用語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章表現は平易で簡潔であるとともに、運筆方法は伝わるように、具体的な言葉で示されています。</li> </ul>
② 書体	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写的な観点から見て、手書き文字と近い形で学習できるユニバーサルデザインフォントを使用しています。(全般)</li> </ul>
③ 紙面デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトにしています。</li> </ul>
④ カラーユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウトを工夫しています。</li> </ul>
⑤ 特別支援教育、日本語指導を必要とする児童等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本点画の名称と書き方について確認できるページが、全学年に設けられています。(p.45-46)</li> </ul>
⑥ 人権上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の多様性を踏まえ、イラストや図版を含め教科書内の表現に配慮しています。(全般)</li> </ul>
⑦ 左利きの児童への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>左利きで書く場合の持ち方を掲載することで、個別最適な学びに配慮しています。(p.6)</li> </ul>
⑧ 安全・安心への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>セーフティ教室を題材とした作文を掲載することで、安全への意識を高めています。(p.32)</li> </ul>
<b>6 印刷・造本</b>	
① 印刷・表紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙には、抗菌加工と撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。</li> <li>書き文字や、図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものとなっています。</li> </ul>
② 紙・判型	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙の強度を維持しつつ、できるだけ軽量の紙を使用しています。</li> <li>学習用具が多い教科特性をふまえて、机の場所をとりすぎないB5判サイズにしています。</li> </ul>

## 2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

(ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。

(イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

(ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容			該当箇所	配当時数
	ア	イ	ウ		
毛筆の学習が始まるよ／学習の進め方	○	○	○	p.1-2、5	2
目次	○	○	○	p.3-4	
1 はじめの学習	○		○	p.6-12	
2 「横画」の筆使い	○		○	p.13-15	2～3
3 「たて画」の筆使い	○		○	p.16-17	2
知りたい文字の世界「筆について知ろう」	○		○	p.18	適時
4 「はらい」の筆使い	○		○	p.19-21	3
こう筆の学習 「はらい」	○			p.22	
レッツ・トライ「暑中みまい」	○	○		p.23	1
レッツ・トライ「セーフティ教室の作文」	○	○		p.32	1
レッツ・トライ「てんらん会作品のカード」	○	○		p.27	1
5 「おれ」と「はね」の筆使い	○		○	p.24-25	2～3
こう筆の学習 「おれ」と「はね」	○			p.26	
6 ひらがなの筆使い	○		○	p.28-29	3～4
こう筆の学習 筆順と字形	○			p.30-31	
レッツ・トライ「俳句」	○	○		p.39	1
レッツ・トライ「お店見学のお礼じょう」	○	○		p.33-35	1
7 「曲がり」と「おれ」の筆使い	○		○	p.36-37	3～4
こう筆の学習 文字の組み立て方	○			p.38	
点画のしゅるい	○		○	p.40-41	4
8 学習のまとめ	○	○	○	p.42-45	
知りたい文字の世界「手書き文字」と「活字」	○	○		p.46	適時
知っておこう ローマ字表	○	○		p.47	
書いてつたえ合おう「メモを取ってまとめよう」	○	○		p.48-49	
書きぞめ	○		○	p.50-56	4～5
漢字表 三年生で学習する漢字 二年生で学習した漢字	○	○		p.57-60	適時
横書きの書き方	○	○		p.60	
ひらがな表 かたかな表	○	○		p.61	
				計	30～35